

友の会の会員がめぐりあいの喜びや作品に寄せる思いを伝えるため、年に一度、所有する作品を持ち寄って展示する梅野記念絵画館恒例の展覧会です。



私の 第21回
愛する
一点展

www.umenokinen.com

2022年6月18日[土]~8月28日[日]

東御市梅野記念絵画館

私の愛する 一点展

第21回

2022年6月18日[土]～8月28日[日]

休館日＝月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

会場＝東御市梅野記念絵画館 大展示室

入館料＝一般300円

(団体割引 200円/障がい者割引 100円)

※団体割引は15名様以上から ※障がい者割引はご同伴者1名様も同額です

2022年「私の愛する一点展」はこの度21回展を迎えます。

人気作家の紹介、展示をモットーとする美術館は数多く見受けられます。だが初代梅野隆館長は寧ろ日の当たらない隠れた名品、作家に光をあて、先んじて新たな美意識を喚起しようと藝林時代から心掛けて参りました。そこで培った活動と仲間達が母体となり、この地に絵画館が成立いたしました。その後隆館長は己の美を発見しようという個人的情熱を万人の情熱にまで高めるべく、この「私の愛する一点展」を提唱したのです。その活動に共感を寄せた人々が自慢の一点を出品し、あるべき美術の姿を語り合うことがこの展の開催意義となって今日に至っています。この美術運動とも云うべき活動が今後も未知の優秀な作家の発掘へ、また囚われのない目の育成へと繋がることを信じて止みません。この都度も秀作が集まりました。皆様、ご高覧の程、御願ひ申し上げます。

梅野記念絵画館 友の会会長 御子柴大三

ごあいさつ

コロナ禍で開催が危ぶまれ、昨年ようやく2年ぶりに第20回私の愛する一点展を開催しましたが、あれから1年が経過する間に海外では戦争が始まってしまいました。

人間の生命の尊厳を誰もが認識しているはずの21世紀の今、戦争なぞ起きるはずがないと誰もが思っていたのに。今回は、銃を持つ同じ人間の手が、このように美しい絵を描くことの不可解さ、切なさを感じながら見ようと思います。来年の第22回展を見る時にはもうとっくに戦争が終わっていることを願って。

東御市梅野記念絵画館 館長 大竹永明

美は到るところにあり、見ようとするだけで見えてくる。ただ見ようとするだけでは、美は到るところにあり、見ようとするだけで見えてくる。ただ見ようとするだけでは、美は到るところにあり、見ようとするだけで見えてくる。



もう一度観たい
私の愛する一点展

2022年6月18日[土]～8月28日[日]

東御市梅野記念絵画館 ふれあい館

入館料：無料

過去20回開催された「私の愛する一点展」を振り返り、もう一度観たい「私の愛する一点」を精選して展示します。

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 芸術むら公園 TEL:0268-61-6161 FAX:0268-61-6162

■ 鉄道等の場合

しなの鉄道・田中駅からタクシーで15分

■ お車の場合

上信越道・東部湯の丸ICから約20分

Google Map▶



www.umenokinen.com

